

漁業センサスで こんなことがわかります

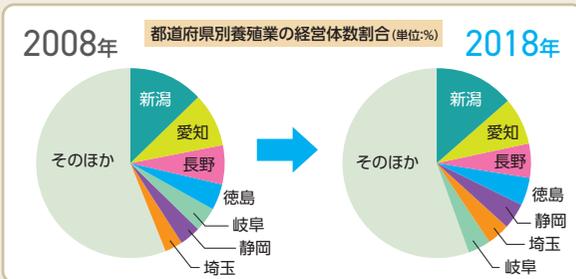


例えば 年齢階層別の就業者数の推移



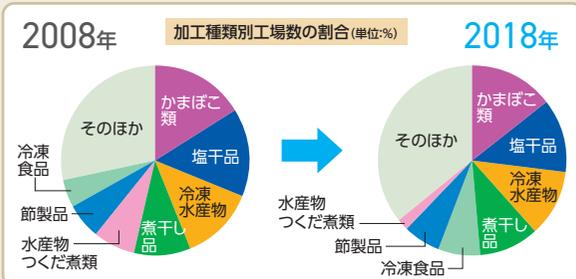
読み取れること 漁業就業者が高齢化し75歳以上が多い。一方、就業者の全体数は全年齢層で減少。

例えば 都道府県別養殖業の経営体数割合



読み取れること 上位4県の順位は変わらないが、5位以下は10年で入れ替わった。

例えば 加工種類別工場数の割合の変化



読み取れること 時代や嗜好の変化により、消費者が求めている加工品に変化が見られる。

Q インターネットで回答はできますか？

A インターネット回答なら、24時間お好きな時間にご回答いただけます。調査票と共に配布されているオンライン調査ガイドをご確認ください。

いつでも回答

調査員の回収も不要

入力カンタン

自動チェックで入力エラーなし

データも安全

回答内容は暗号化

Q 個人情報は守られますか？

A 漁業センサスは、統計法に基づく基幹統計調査です。調査内容は定められた目的以外の使用を法律で禁じられており、調査結果が他の用途に使われることは一切ありません。また、調査員には守秘義務があり、調査で知れた情報が他人に漏れることもありません。



お問い合わせ 漁業センサスコールセンター
0570-666-340 (ナビダイヤル)
03-6732-8026 (IP電話の場合)



🔍 **漁業センサス** 検索 リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

日本の漁業の
明日を拓く調査



2023年 漁業センサス

海面漁業調査 & 内水面漁業調査 **2023年11月1日**

流通加工調査 **2024年1月1日**

**水産業を営む
すべての世帯や法人を対象に**
5年ごとに行う全国一斉調査です。



漁業センサスって何?

漁業センサスで集まった統計データが国内の漁業に活かされています。

水産行政施策の企画・立案のための基礎資料づくりを目的に行っている調査です。



「漁業センサス」はなぜ必要?

世界で水産物の需要が増大する中、我が国周辺の豊かな水産資源を適切に管理



し、国民に安定的な供給を行うことが重要となっています。また、我が国では漁業者の減少・高齢化や国民の魚離れなどが懸念されています。このような課題に対応するため、農林水産省では様々な施策を企画・立案しており、「漁業センサス」はその指標となります。

「漁業センサス」でわかること

全国の漁業の生産構造や就業構造、水産物流通・加工業の実態が明らかになるとともに、市区町村など



の小地域における基本的な漁業の実態がわかります。

例えば、こんな形で役立てられています

水産施策の企画・立案・推進

地方交付税の算定基礎

漁港の整備や漁場の保全

各種統計調査の母集団情報



その1 漁業就業者の正確な年齢構成の把握

年齢階層別の漁業就業者数を把握し、5年ごとの年齢構成の変化をとらえます。

漁業就業者の育成などの基礎資料として活用されます

その2 自家漁業者の労働環境の把握と改善

「自家漁業の従事日数」を把握し、皆さまの労働環境をとらえます。

漁業就業者に対する支援や、労働条件改善の検討の基礎資料として活用されます

その3 リーダー育成や女性就業者の育成促進

「経営方針決定への関わり」について把握し、どのような方が経営方針の決定に関わっているのかをとらえます。

リーダーの育成や漁村で活躍をする女性の育成における基礎資料として活用されます



その4 輸出した水産物の販売金額の把握



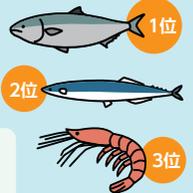
過去1年間に漁獲した水産物の輸出販売金額や数量を把握し、水産物の輸出の実態を明らかにします。



輸出拡大を図る施策の指標に活用されます

その5 漁業種類ごとの販売金額の把握

販売金額の1位から3位までの漁業種類や魚種を把握し、漁業経営の実態を明らかにします。



漁業経営安定施策の基礎資料として活用されます

その6 漁業者の平均販売金額の把握

国内の平均販売金額のデータを把握し、地域ごとの漁業経営の状況を明らかにします。

地域創生の取り組みの基礎資料として活用されます

漁業に携わる皆さまの経営安定や水産業の発展のためにも「漁業センサス」は欠かせない統計データなんです!!

